# 令和７年度　武蔵野市環境啓発施設運営会議（第４回）議事要録

１　日時　　令和８年３月６日（金）午前10時～12時

２　場所　　むさしのエコreゾート　アーカイブ・オンライン

３　出席者　藤原委員、中西委員、木村委員、村井委員、野村委員、奈良委員、関口委員

４議事要録

(1)はじめに

（事務局より資料の説明を行った。）

(2)むさしのエコreゾートにおける事業運営体制の変更に向けた進捗について

（事務局より資料の説明を行った。）

・来年度からの人員体制はどのようになるのか。芝生広場を所管するクリーンセンターとの連携も含め、運用できるようにしてほしい。

⇒(事務局)市職員と事業者を合わせて、適切な人員体制となるよう、事業者と調整している。

・出張プログラムについて、学習指導要領を変える流れがあるので、適宜情報収集することで学校のニーズに応えられるのではないか。

⇒(事務局) 事業者がアドバイザーの意見を取り入れながらプログラムを作成しており、引き続きニーズを汲みながら取り組んでいきたい。

・私立学校や幼稚園などとも連携を図っていくのが良いのではないか。

・東京都が実施している「すくわくプログラム」(乳幼児の主体的・協働的な探究活動を補助する事業) と連動した仕掛けができるとニーズに応えやすいのではないかと思う。

・保育園が芝生広場に遊びに来ている。館内で段ボールから立体をつくるとか、工作だけでも対応して引き入れていければよいと思う。

⇒(事務局)現在私立学校との関わりでは、ユース世代を対象としたプログラムを実施しており、今年度はYouthフォーラム及びYouthフェスタを通して、各学校や学生団体との連携を図っている。また、保育園についても見学対応などを実施した。学校・保育園や東京都事業との連携については各々目的をもって来てくれているので、どこまで合わせていくかが課題だが、どのようなことができるのか引き続き探っていきたい。

・隣接する緑町コミセンとの連携や情報共有をもっと図ってほしい。

・成蹊大学にも新しく国際共創学部ができるので、イベントの協力や共催などできると良い。また、お互いの施設に掲示板など情報交換できる場があると交流が進むと思うので、検討してほしい。

(3)令和７年度事業実施状況について及び(4)むさしのエコ re ゾートにおける事業評価方法について

（事務局より資料の説明を行った。）

・定量評価としては安定してきたので、ヒアリングやインタビューなどで利用者の動向

を捉えるような評価があっても良い。

・事業評価シートの案が分かりやすいので、このような形式で次に活かせるようにまとめていくのが良いのではないか。

⇒（事務局）事業評価の具体的な運用方法については、来年度の運営会議で改めてご説明したい。

以上